

県立職業能力開発施設の現状について

1 県立職業能力開発施設

- 産業技術短期大学校－高度職業訓練で長期間及び短期間の訓練課程を行うための施設。本県には、矢巾校と水沢校の2校。
[12県19施設(R4.4現在) 一本県2、山形2、福島3、茨城1、神奈川1、山梨2、長野2、岐阜1、静岡2、広島1、熊本1、大分1]
- 高等技術専門校－普通職業訓練で長期間及び短期間の訓練課程を行うための施設。本県には、千厩校・宮古校・二戸校の3校。
[全都道府県計147施設(R4.4現在)]

【県立職業能力開発施設で実施する主な訓練】

■ 新規学卒者訓練

高卒者を対象とした1年又は2年課程。

産技短卒や在職者を対象とした応用短期課程。

■ 在職者訓練

企業が必要とする人材の育成支援、個人の能力開発を支援する短期課程訓練 [訓練期間－2日間・12時間]

産技短矢巾校、水沢校(水沢、大船渡)、宮古校、二戸校(久慈、二戸)

■ 離職者等の訓練(委託)

公共職業安定所の訓練受講の指示等を受けた求職者に対して、早期再就職を支援するための訓練を民間職業訓練法人等に委託

2 県立職業能力開発施設の概要

□ 産業技術短期大学校 矢巾校 (築26年) 在職者訓練・離職者訓練 実施

メカトロニクス技術科 2年制 定員各20名

メカトロニクス技術科とは、メカニクス(機械工学)と、エレクトロニクス(電子工学)の技術を融合させ、機械をマイコンなどで制御し動作させる技術である。

技術革新の激しい工業界における工場のFA化やメカトロニクス機器の開発・設計・製造に対応するため「モノづくり」の機械設計・加工技術と「モノを動かす」ための制御技術・回路設計技術を基礎理論から実験・実習まで一貫したカリキュラムにより習得し、幅広い分野で柔軟に対応でき、かつ新分野も積極的に開拓できる実践的技術者を育成している。また、実習においては企業の生産管理法を取り入れるなどし、職業意識の高揚を図っている。

電子技術科 2年制 定員各20名

電子回路の基礎からマイコンなどを駆使した電子機器の設計・製作までを理論学習の裏付けのもとに実験・実習を通して学び、開発・製造分野に柔軟に対応でき、将来十分に活躍できる人材の育成を目指している。そのために、技術の理論を座学で学習し、実験・実習で理解を深め、卒業研究で応用作品を制作している。

建築科 2年制 定員各20名

木造住宅の設計・施工の実務教育に重点を置き、実践技能技術者の育成を目指している。

生産現場における施工管理能力、設計業務における実践力を身に付けるために、建築計画・構造・施工を軸とした建築学の基礎全般にわたる知識の習得とともに、設計・施工・CAD実習・工学実験等の実技実習に重点を置いたカリキュラムで訓練を行っている。卒業後は、直ちに2級建築士の受験資格を取得できる。

産業デザイン科 2年制 定員各20名

進展する IT などの先端技術に関する知識や実践ものづくりの能力を持ち、かつ独創的な発想力、豊かな感性、そして優れた問題解決能力を有する人材の育成が求められている。このような現状を踏まえ、産業デザイン科はプロダクトコースと、グラフィックコースの2コースを設け、それぞれの分野におけるデザイナー養成を中心に、実践教育を行っている。1年前期は基礎的学科及び実習を共通で学び、1年後期から一部の授業をコース毎に分かれ、各分野のより専門的な知識と技術・技能の取得を目指す。

- ・プロダクトコース 工業デザイン及び工芸を対象として、工業製品や伝統工芸品のデザイン及び製作の技法を習得する。
- ・グラフィックコース 広告・印刷デザイン及びウェブデザインを対象とし、印刷物やインターネット等のメディアを活用した広告手法を中心に、視覚伝達手法を習得する。
- ・ウェブコース インターネット上での情報伝達やコミュニケーションについて学び、ウェブサイト構築についての技術を習得する。

情報技術科 2年制 定員各20名

ハードウェア・ソフトウェア技術の基礎の上に、システム構築、マルチメディア技術、ネットワーク構築技術等について学ぶ。
情報技術科では、コンピュータ処理を必要とする現場に対応できる技術を身に付けるため、実習を中心としたカリキュラムにより、高度情報化社会を担う「実践 IT 技術者」を養成することを目指し、つぎの内容を中心に、色々な技術を総合的に学習する。

- ・ソフトウェア開発：Java・C言語、データベース利用法、組込みシステム等
- ・ネットワーク技術：LAN 構築、サーバ構築、セキュリティ技術等
- ・マルチメディア技術：3次元CG、画像処理、ストリーミング等

産業技術専攻科 1年制 定員10名

カリキュラムは、大きくオーダーメイドカリキュラムと生産工学・品質保証技術の2本柱から構成され、機械・電子電気・情報分野の総合的基礎の修得、機構設計・PLC・制御に関する基礎技術を習得し、企業の中核的・リーダー的人材、開発・設計・改善ができる人材を育成することを目指している。

- また、産・学連携し、講師には企業の第一線の方や大学工学部の先生も加え、肉付けとなる専門学科、専門実技が設定されている。
- ・オーダーメイドカリキュラム
生産現場が実際に抱える生産工程で生じている課題を企業から聴き、個人ごとに研究テーマに設定。企業と連携した共同人材育成として問題解決に向けた生産現場力を養う。
 - ・生産工学・品質保証技術
生産システムの効率化や厳しい品質要求に対応していくための手法について実践を交えて学ぶ。
最終的には設計まで遡り改善する5源主義による改善手法を修得する。実際の生産現場において事例を盛り込みながら、改善力と開発力を養う。

□ 産業技術短期大学校 水沢校 (築33年) 在職者訓練・離職者訓練 実施

生産技術科 2年制 定員各20名

機械全般に関する知識並びにコンピュータを活用した金型の加工や設計など、ものづくりの技術・技能について学ぶ。
機械・電気・制御などの基礎理論のほか、旋盤やフライス盤などの汎用機械の加工技術、マシニングセンタなどのコンピュータ制御による機械などを駆使して、携帯電話・家電製品などのプラスチック部品や金属製品を作るために必要な金型を作る技術のほか、CAD/CAM/CAEなどのコンピュータによる設計・加工・解析が出来る実践技術者の育成を目指している。

電気技術科 2年制 定員各20名

電力システム、自動制御システム、情報通信システムなどを構築するために必要となる、電気全般に関する技術と技能を学ぶ。
電気・電子・情報の基礎理論のほか、電気設備に関する設計・施工技術や、電動機・発電機をはじめとした各種電気機器の動作原理及びコンピュータ制御に必要なハードウェア及びソフトウェア技術を習得し、電気技術について総合的に対応できる実践技術者の育成を目指している。

建築設備科 2年制 定員各20名
建築空間の環境を考え、給排水設備、空気調和設備等、建築設備全般についての設計から施工技術までを学ぶ。 生活水準の向上により建築空間の社会的要請に応えるため、生活環境（空気、水、光、熱など）を考えながら、建築の専門分野、設備専門分野、設計、施工技術分野などの知識の実務教育に重点を置くと共に、設備CAD等のコンピュータを活用し、設備計画、設計、積算などが出来る実践技術者の育成を目指している。

○ 千厩高等技術専門校（築44～57年（実習棟）、築56年（管理棟、寄宿舎棟）、築41年（体育館））

自動車システム科 2年制 定員各20名
2級自動車整備士の資格取得を目標に、自動車工学、整備法、パソコン実習、法規などの専門知識や自動車整備実習などを通じて整備士に必要な技術・技能を習得する。また、近年ハイテク化する自動車に対応できる整備士の育成を目指す。 修了後の学科試験合格により、二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、二級自動車シャシ整備士の資格取得が可能である。（本科修了により実技試験免除）。

○ 宮古高等技術専門校（築44年（体育館）、築49年） 在職者訓練・離職者訓練 実施

自動車システム科 2年制 定員各15名
2級自動車整備士の資格取得を目標に、自動車工学、整備法、パソコン実習、法規などの専門知識や自動車整備実習などを通じて整備士に必要な技術・技能を習得する。また、近年ハイテク化する自動車に対応できる整備士の育成を目指す。修了後の学科試験合格により、二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、二級自動車シャシ整備士の資格取得が可能である。（本科修了により実技試験免除）。
金型技術科 1年制 定員10名
プレス金型、射出成形金型を中心に、ものづくり分野での設計・製作に即応できる実践技術者の養成を目指し、NC加工やCAD/CAM演習など、高精度な機械加工技術を習得する。在学中には、三級技能士（機械加工、研削盤作業、機械製図）や危険物取扱者等の取得が可能で、多くが、県内の金型関連企業に就職している。

○ 二戸高等技術専門校（築38～39年、築21年（自動車実習棟）） 在職者訓練・離職者訓練 実施

自動車システム科 2年制 定員各20名
2級自動車整備士の資格取得を目標に、自動車工学、整備法、パソコン実習、法規などの専門知識や自動車整備実習などを通じて整備士に必要な技術・技能を習得する。また、近年ハイテク化する自動車に対応できる整備士の育成を目指す。 修了後の学科試験合格により、二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、二級自動車シャシ整備士の資格取得が可能である。（本科修了により実技試験免除）。
建築科 2年制 定員各15名
建築技能者（建築大工）に必要な器工具、機械の取り扱い、小規模住宅の設計・積算・施工管理等、建築に関する知識と技術・技能の基本から応用まで段階的に習得する。小型車両系建築機械運転特別教育や、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、玉掛け技能講習等の建築技能者に必要な資格が取得可能で、2級技能士（建築大工職種）も取得可能である。

3 県立職業能力開発施設の授業料等

	入学料	授業料（年額）	寄宿舎料（月額）	寮費（食費等）
産業技術短期大学校	135,400円 (県外者203,000円)	390,000円	4,300円	約30,000円
高等技術専門校	5,650円	118,800円	700～1,400円	約30,000円

4 寄宿舎の利用状況

(R4.4.15現在)

施設名称	男子定員	男子入寮者	男子入寮率	女子定員	女子入寮者	女子入寮率	定員	入寮者	入寮率
産業技術短期大学校（本校）	39人	32人	82.1%	30人	11人	36.7%	69人	43人	62.3%
産業技術短期大学校（水沢校）	36人	22人	61.1%	4人	0人	0%	40人	22人	55.0%
千厩高等技術専門学校	23人	12人	52.2%				23人	12人	52.2%
宮古高等技術専門学校	18人	15人	83.3%				18人	15人	83.3%
二戸高等技術専門学校	40人	18人	45.0%				40人	18人	45.0%
計	156人	99人	63.5%	34人	11人	32.4%	190人	110人	57.9%

5 定員充足率と就職率

施設名	科名	修業年限	定員	入学者数	入学者定員充足率		県内就職率		
					R4	R4	H29～R4 平均	※1 県内事業所	※2 (県内本社)
								R3	R3
産業技術短期大学校 本校	メカトロニクス技術科	2年	20名	21名	105.0%	98.3%	86.7%	53.3%	
	電子技術科	2年	20名	22名	110.0%	105.0%	85.0%	45.0%	
	建築科	2年	20名	22名	110.0%	113.3%	93.8%	87.5%	
	産業デザイン科	2年	20名	20名	100.0%	101.7%	75.0%	60.0%	
	情報技術科	2年	20名	23名	115.0%	111.7%	65.2%	30.4%	
	産業技術専攻科	1年	10名	3名	30.0%	31.7%	100.0%	100.0%	
産業技術短期大学校 水沢校	生産技術科	2年	20名	13名	65.0%	69.2%	76.5%	47.1%	
	電気技術科	2年	20名	7名	35.0%	69.2%	78.6%	35.7%	
	建築設備科	2年	20名	15名	75.0%	85.0%	85.7%	57.1%	
産技短	計		170名	146名	85.9%	90.5%	80.0%	51.4%	
千厩高等技術専門学校	自動車システム科	2年	20名	17名	85.0%	75.8%	100.0%	100.0%	
宮古高等技術専門学校	自動車システム科	2年	15名	17名	113.3%	80.0%	100.0%	100.0%	
	金型技術科	1年	10名	6名	60.0%	33.3%	—	—	
二戸高等技術専門学校	自動車システム科	2年	20名	9名	45.0%	75.0%	100.0%	83.3%	
	建築科	2年	15名	8名	53.3%	65.6%	87.5%	87.5%	
専門学校	計		80名	57名	71.3%	69.2%	97.3%	91.9%	
合計			250名	203名	81.2%	83.7%	83.6%	59.9%	

6 県立職業能力開発施設の運営及び施設設備整備等に関する予算・決算

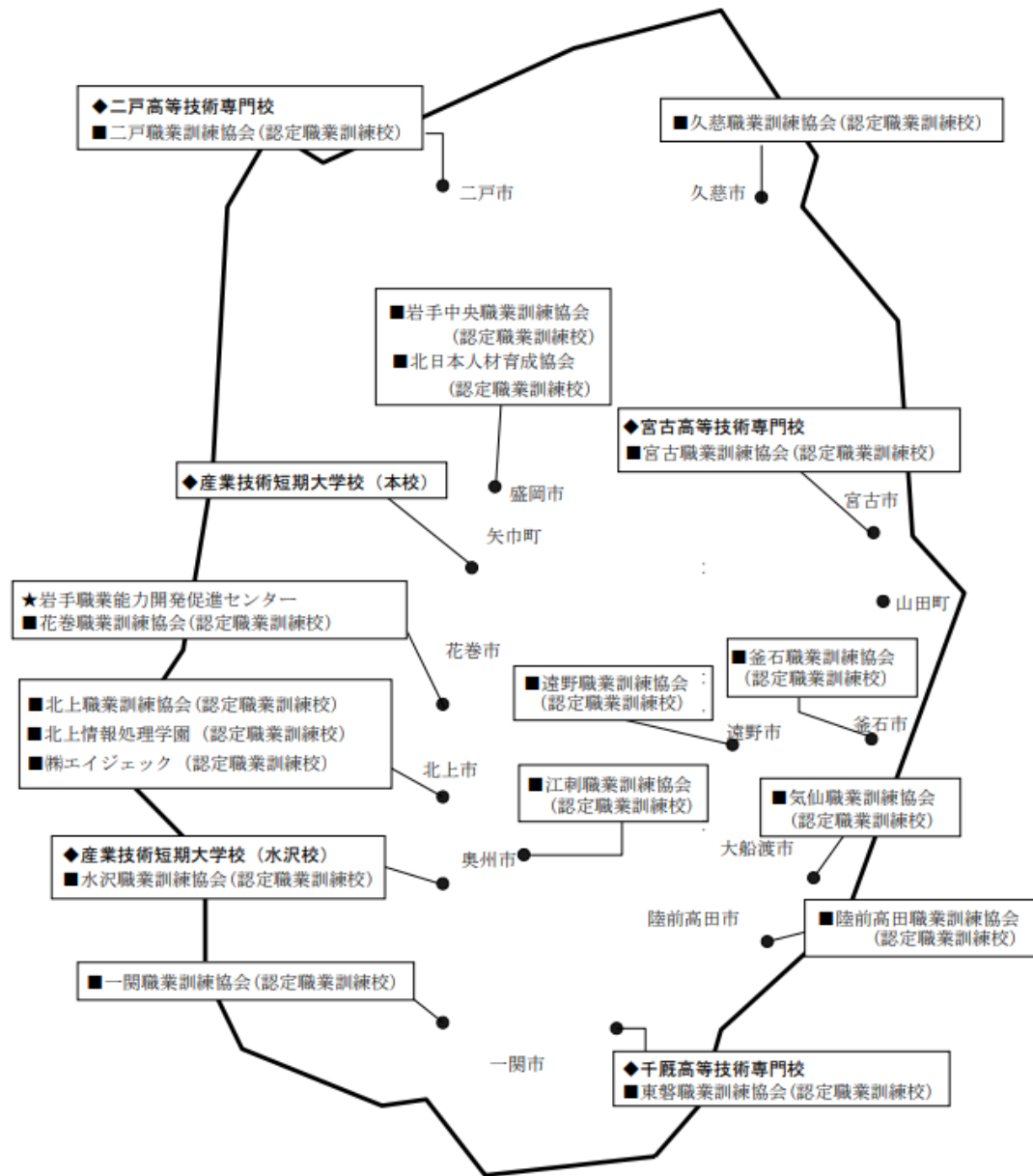
(単位：千円)

区分	令和3年度 決算額	財源			令和4年度 当初予算額	財源			備考
		国庫	一般財源・県債	その他		国庫	一般財源・県債	その他	
		職員人件費	695,571	324,588		370,906	77	693,906	
学卒者訓練、運営一般	296,529	69,358	95,618	131,553	321,449	50,770	138,021	132,658	
施設設備整備	119,242	64,536	54,706		135,206	76,417	58,789		
在職者訓練	19,532	9,120	10,387	25	22,154	10,381	11,745	28	
離職者訓練	334,700	334,601		99	565,665	565,564	0	101	定住推進・雇用労働室執行分を含む
合計	1,465,574	802,203	531,617	131,754	1,738,380	960,719	644,874	132,787	

7 指導員数（令和4年度）

施設名	指導員数	配置状況
産業技術短期大学校（本校）	35人	メカトロニクス技術科（6）、電子技術科（6）、建築科（6）、産業デザイン科（6）、情報技術科（6） 産業技術専攻科（2）、能力開発研修科（3）
産業技術短期大学校（水沢校）	19人	生産技術科（6）、電子技術科（6）、建築設備科（6）、能力開発研修担当（1）
千厩高等技術専門校	4人	自動車システム科（4）
宮古高等技術専門校	5人	自動車システム科（3）、金型技術科（2）
二戸高等技術専門校	8人	自動車システム科（4）、建築科（4）
合計	71人	

8 職業能力開発施設の配置図



9 県立職業能力開発施設の主な課題

- (1) 施設の老朽化等に対応した訓練環境の維持・整備
- (2) 少子化等に伴う入校(学)者の減少

岩手県における中学校卒業生数及び高等学校入学者数の推移 (R3.2 岩手県教育委員会)

平成28年3月に県内の中学校を卒業した生徒数は、12,092人でしたが、令和2年3月の同生徒数は10,679人であった。さらに、令和16年3月の同生徒数は7,520人と見込まれており、令和2年時の約7割に減少すると予想されている。

